

行政対応特別研究

「二国間農業交渉の戦略的対応に資するための国際的な農業・農政動向の分析」

平成19年度カントリーレポート

オーストラリア，アルゼンチン，EU 油糧種子政策の展開

目 次

第1章 カントリーレポート：オーストラリア

(玉井哲也)1

はじめに1

1. 政治・経済の状況2

(1) 豪州の政治体制2

(2) 豪州の直面している主な政治・経済上の課題2

(3) 豪州の政治状況5

(4) 政権交代6

2. オーストラリアの農業8

(1) 農業の経済，社会の中での位置づけ，性格8

(2) 水問題12

(3) 豪州におけるGMO（遺伝子組換え作物）の状況17

3. 貿易20

(1) 貿易状況と基本的な貿易政策20

(2) 豪州のFTA政策22

(3) 日本との貿易関係27

(4) WTOの紛争案件27

(5) 衛生植物検疫措置（SPS）29

(6) 国家貿易（STE）30

主要参考文献等34

付属資料1 コリッシュ報告と農業政策ステートメント38

付属資料2 FarmBisについて49

付属資料3 オーストラリアにおける外国人の農用地取得規制等57

(4) EU 油糧種子粕の自給率	118
3. ヨーロッパにおける油糧種子政策の展開	119
(1) アメリカ型「大豆複合体」モデルのヨーロッパへの輸入	119
(2) デイロン・ラウンドと「油糧種子」共通市場組織	124
(3) ヨーロッパ油糧種子政策の展開と生産動向	129
4. ヨーロッパにおける植物タンパク質の欠乏と家畜飼料工業	136
(1) EU の家畜飼料工業の展開	136
(2) フランスにおける家畜飼料工業の展開	143
5. GMO 問題とバイオ燃料需要に直面する家畜飼料工業 －おわりにかえて－	150
引用・参考文献	154